

株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- **定時株主総会** 基準日 毎年3月31日
開催日 毎年6月中
- **剰余金の配当** 期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
100株
- **単元株式数** 電子公告（事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載）
<http://tpr.co.jp/>
- **公告方法** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- **株主名簿管理人** 特別口座の口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社
- **株主名簿管理関係事務取扱場所** 本店証券代行部
- **お問い合わせ先**

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り 方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先、電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- ホームページアドレス <http://tpr.co.jp/>

お知らせ

単元未満株式の買取制度について

単元未満株式（100株に満たない当社株式）を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行(0120-288-324)にお問い合わせください。

■ 買取制度の例（150株ご所有の場合）



配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



TPR株式会社

証券コード：6463（東証一部）

中間報告書

2016.04.01 - 2016.09.30

第 84 期

株 主 の 皆 様 へ

平素は格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

弊社第84期第2四半期累計期間が終了しましたので、概況につきご報告申し上げます。

今上期は、急速な円高進行下にあっても、堅調な業績を挙げることができました。

年初来からの一貫した急速な円高の進行は、企業全般の業績に不安定さをもたらしております。海外においても、米国は引き続き底堅さを維持しましたが、中国を始めとした新興国では景気減速が継続し、依然として先行き不透明感が残る状況で推移しております。

弊社グループが主として関連する自動車業界におきましても、国内では相変わらず乗用車販売の回復に力強さはなく、海外においても、販売数量の伸び悩みと円高による収益の減少傾向が顕著となっております。

こうした状況の中、グローバルで生産活動を展開している当社グループにとっても、急速な円高の進行は、輸出採算の悪化に加え、海外拠点の売上・収益の円換算額の目減りをもたらすなどの悪影響がございましたが、アジアや北米等の海外市場での受注数量を増加させるとともに、グローバルベースでコスト低減活動に取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比ほぼ同水準の850億円（前年同期比0.4%減）となりました。また、収益面では、営業利益94億円（同7.3%減）、経常利益104億円（同11.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益52億円（同8.5%減）となりましたが、為替の影響を除きますと、前年比で増収、増益を計上することが

でき、当社グループの収益基盤は、順調に強くなっております。公表しておりました上期業績予想に対しても、売上、収益とも予想値を上回ることができました。

中間配当につきましては、期初予想通り、一株当たり25円とさせていただきたいと存じます。

新中期経営計画達成に向けて引き続き邁進してまいります。

2016年度は、弊社17中期計画の中間年度となっております。今下期につきましては、中国、新興国の景気の足踏み状況が引き続き見通しに加え、米国トランプ新大統領の下での新たな経済、経営環境の展開に注視する必要がありますが、弊社は生産性の向上を進め、世界6極に展開しておりますエンジン関連事業の競争力を更に強めてまいります。同時に、ファルテックを始めとした新規分野各社による多角化の効果を最大限に発揮し、「2020年純利益200億円」目標達成の一里塚としたいと存じます。

今後とも株主の皆様の変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO

富田 健一

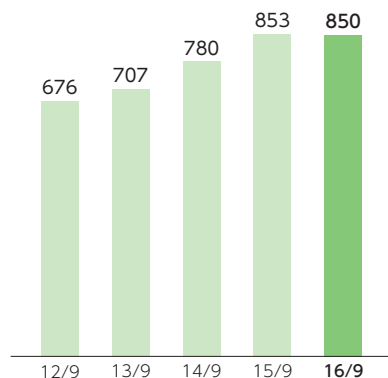


■ 第2四半期連結決算ハイライト

■ 売上高	850億6千4百万円
■ 営業利益	94億6千8百万円
■ 経常利益	104億8千4百万円
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	52億9千3百万円

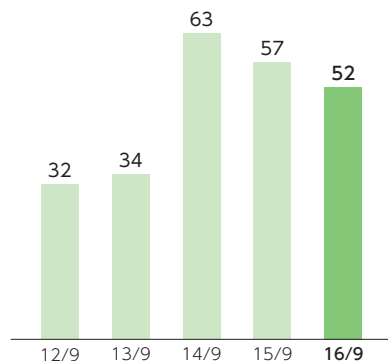
売上高 850億円 (前年同期比 0.4%減) ▼

(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 52億円 (前年同期比 8.5%減) ▼

(億円)

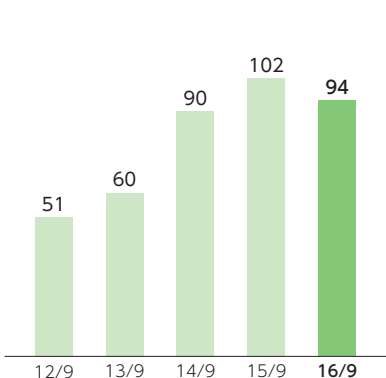


■ 2017年3月期通期連結業績予想

■ 売上高	1,738億円
■ 営業利益	193億円
■ 経常利益	220億円
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	110億円

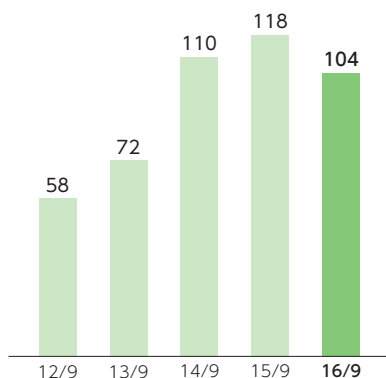
営業利益 94億円 (前年同期比 7.3%減) ▼

(億円)



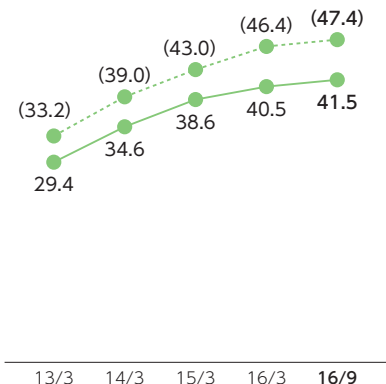
経常利益 104億円 (前年同期比 11.8%減) ▼

(億円)



自己資本比率

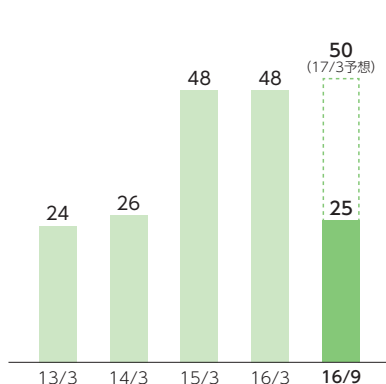
(%)



※ () 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

1株当たり配当金

(円)



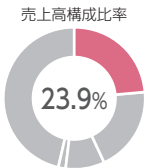
セグメント情報

セグメント業績

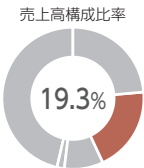
売上高構成比率
(当第2四半期連結累計期間)

日本 アジア 北 米 その他地域 ファルテックグループ

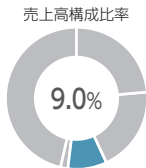
T P R グ ル ー プ (ファ ル テ ッ ク グ ル ー プ を 除 く)



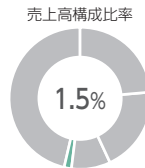
外需向けの受注の低下もあり、売上高は203億17百万円と前年同期に比べ6億59百万円の減収となりました。セグメント利益は、22億20百万円と前年同期に比べ8億86百万円の減益となりました。



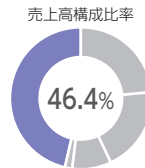
アジア市場では市場が緩やかな回復は見えるものの、円高による為替換算の影響やインド拠点の会計期間変更があり、売上高は163億79百万円と前年同期と比べ5億9百万円の減収となりました。セグメント利益は中国拠点の増産で54億86百万円と前年同期に比べ2億30百万円の増益となりました。



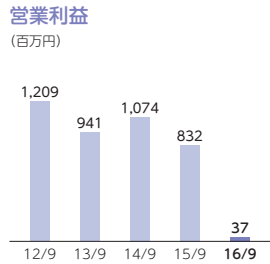
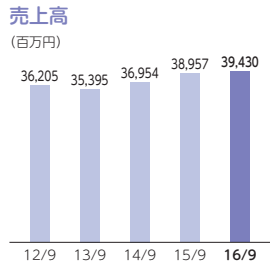
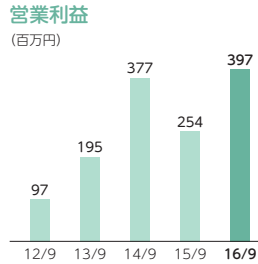
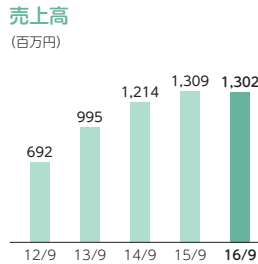
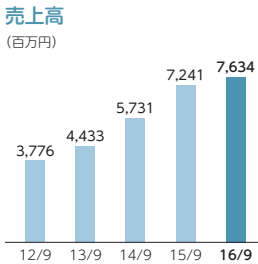
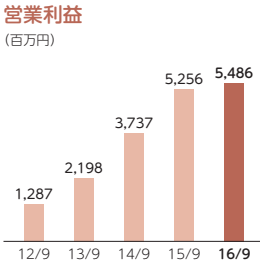
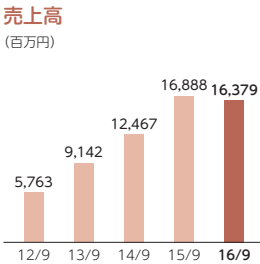
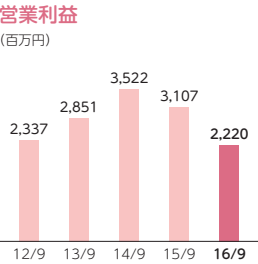
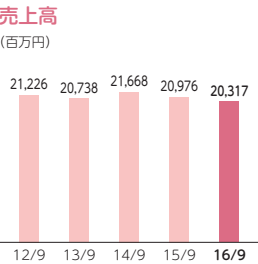
北米経済が堅調を維持する中、売上高は76億34百万円と前年同期と比べ3億93百万円の増収となりました。セグメント利益は10億84百万円と前年同期に比べ4億27百万円の増益となりました。



欧州市場では、円高による為替換算の影響を受け、売上高は13億2百万円と前年同期に比べ7百万円の減収となりました。セグメント利益はブラジル拠点の生産開始により3億97百万円と前年同期に比べ1億43百万円の増益となりました。



ファルテックグループでは、中国における新拠点の連結追加により、売上高は394億30百万円と前年同期に比べ4億72百万円の増収となりました。セグメント利益は日本における売上高減少影響や英国子会社の新車立ち上げ時の費用増が前年より一部継続しており37百万円と前年同期に比べ7億95百万円の減益となりました。



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円		
科目	当第2四半期末 (2016.9.30現在)	前期末 (2016.3.31現在)
資産の部		
流動資産	86,206	91,179
固定資産	100,883	105,968
有形固定資産	60,525	63,174
無形固定資産	1,842	2,161
投資その他の資産	38,514	40,631
資産合計	187,089	197,147
負債の部		
流動負債	59,944	61,973
固定負債	28,150	32,518
負債合計	88,094	94,492
純資産の部		
株主資本	69,997	65,632
その他の包括利益累計額	7,580	14,551
新株予約権	123	95
非支配株主持分	21,293	22,375
純資産合計	98,994	102,655
負債純資産合計	187,089	197,147

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、118億53百万円（前年同期比10.6%増）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が103億12百万円、減価償却費が47億76百万円、主な資金の減少は、法人税等の支払額が27億41百万円、持分法投資損益が11億78百万円等によるものであります。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、68億円（同14.0%増）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が70億41百万円及び有形及び無形固定資産の売却による収入が14億38百万円等によるものであります。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、56億22百万円（同7.3%増）となりました。これは主に短期借入金の純増減額による収入が16億6百万円、長期借入れによる収入が14億42百万円及び返済による支出が55億68百万円、非支配株主への配当金の支払額が16億39百万円、配当金の支払額が8億49百万円等によるものであります。

■ 四半期連結損益計算書（要旨）

単位：百万円		
科目	当第2四半期 (2016.4.1～ 2016.9.30)	前第2四半期 (2015.4.1～ 2015.9.30)
売上高	85,064	85,373
売上原価	62,115	62,100
売上総利益	22,948	23,273
販売費及び一般管理費	13,479	13,055
営業利益	9,468	10,217
営業外収益	1,912	2,262
営業外費用	895	595
経常利益	10,484	11,884
特別利益	—	179
特別損失	172	236
税金等調整前四半期純利益	10,312	11,827
法人税等	2,174	2,818
過年度法人税等	—	505
四半期純利益	8,137	8,503
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,844	2,721
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,293	5,782

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円		
科目	当第2四半期 (2016.4.1～ 2016.9.30)	前第2四半期 (2015.4.1～ 2015.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,853	10,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,800	△ 5,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,622	△ 5,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,923	60
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 2,494	△ 427
現金及び現金同等物の期首残高	24,928	20,268
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	383	1,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,817	20,900

ダイハツ工業(株)より品質優秀賞受賞

5月24日に「2016年度DSC(ダイハツサプライヤークラブ)定期総会及びダイハツ感謝の会」が、仕入先604社が参加してリーガロイヤルホテル(大阪)で開催されました。

感謝の会では、2015年度の仕入先表彰が行われ、TPRは「品質優秀賞」を受賞しました。同賞は、ダイハツ工業の品質表彰としては、特別賞「連続品質優秀賞」(品質優秀賞を5年連続受賞)に次ぐ大変栄誉ある賞で、全サプライヤー中14社のみの受賞となっています。受賞式には山岡社長が出席し、ダイハツ工業三井社長より表彰状と記念の盾が授与されました。



日産自動車(株)より品質優秀賞受賞

7月12日に開催された日産の協力会『日翔会総会』中で「2016年 Nissan Global Supplier Award」の表彰が有り、TPRは「Japan Regional Quality Award」(品質優秀賞)を受賞致しました。

同賞は約245社のサプライヤの中から各カテゴリーで1社のみ選出される大変栄誉ある賞で、日産自動車の国内の品質表彰としては最高位の賞となります。

TPRは2008年・2011年・2012年に続き、4度目の受賞となります。受賞式には山岡社長が出席し、日産自動車中村副社長より表彰状と盾を授与されました。



会社概要

- 社 名 TPR株式会社
- 所在地等 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
新丸の内センタービル
TEL : 03-5293-2811 (大代表)
FAX : 03-5293-2824
URL : <http://tpr.co.jp/>
- 資 本 金 46億47百万円
- 設 立 1939年12月3日
- 従 業 員 738名

株式情報

株式の状況

発行可能株式数	135,000,000 株
発行済株式数	36,022,099 株
株主数	4,846 名
上記のうち議決権を有する株主数	4,157 名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	2,395,000	6.76
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,293,000	6.47
トヨタ自動車株式会社	2,070,600	5.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,978,700	5.58
株式会社みずほ銀行	1,518,800	4.28
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,310,000	3.70
ヒューリック株式会社	1,231,812	3.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,112,100	3.14
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	964,800	2.72
TPR取引先持株会	934,900	2.64

(注) 持株比率は、自己株式(618,173株)を控除して計算しています。(小数点第3位以下切り捨て)

所有者別株式分布状況

